長崎高教組
定通部だより
2019年9月17日
第2号
発行責任者　烏山 隆弘

ホームページ　http://nagasaki-kokyoso.org
メールアドレス　info@nagasaki-kokyoso.org

第30回 定通部定期大会

◆期　　日　2019年8月3日（土）　13:00～15:00
◆会　　場　長崎高教組会館
◆出 席 者　5名（４分会、委任状７分会）

◆議　事　（詳細は議案書でご確認ください）

・第１号議案　2018年度決算承認に関する件

・第２号議案　2019年度役員承認に関する件

2019年度 定通部役員

部 長	濱本　功二　（佐世保中央夜間） *全教定通部長兼務	副部長	井坂　美緒（鳴滝通信） 烏山　隆弘（鳴滝夜間）

・第３号議案　2019年度方針決定に関する件

１　経過報告･とりくみ総括

担当者からの説明に加え、各活動の参加者が活動内容や感想等を還流報告し、出席者の情報共有の場にもなりました。（文科省交渉、全教定通部定期総会、全国定通教育学習交流集会、中四九ブロック学習交流集会、定通部定期大会、県教研定通部分科会、ゆめおす特別講演会等）また、「定時制・通信制教育の充実を求める署名」は、文科省交渉の場で手渡されたことも報告されました。（2019年度は、1,342筆：42分会）

２　全体の情勢

多忙化を解消して、ゆとりある学校づくりが重要であると提案されました。

３　活動方針

今年度の定通部県教委交渉（2年に1回）の内容について討議。前回の交渉内容を基盤にした下記12項目。特に、(1)エンカレッジコースについては最重点項目として交渉することが提案されました。

今年度(2019年)県教委交渉の柱

(1) エンカレッジコース鳴滝夜間への導入反対、佐世保中央夜間も廃止　(2) 安易な統廃合反対
(3) 日本語を母語としない生徒のための日本語教師を定数外配置
(4) スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・キャリアサポートスタッフ継続配置
(5) 教科書・夜食費補助と給付型奨学金の充実
(6) 授業料無償化、就学支援金手続簡略化　(7) 20人以下学級　(8) 定時制入学願書受付を勤務時間に
(9) 社会人自己推薦制度、職場所属長推薦制度　(10) 離島の通信制生徒に交通費・宿泊費の補助
(11) 修学奨励資金返還免除「卒業まで」を１年単位に引き下げ　(12) 鳴滝夜間教室に県費でエアコン設置

・第４号議案　2019年度予算に関する件

・第５号議案　その他

５つの議案は、拍手で承認されました。

県教研 定通教育分科会

◆期　　日　2019年8月3日（土）　15:10～17:00
◆会　　場　長崎高教組会館
◆参 加 者　5名

今回の教研の主眼は、佐世保中央高校夜間部で昨年度から始まったエンカレッジコースの制度や現状について学習を深め、問題点等を討議し整理することです。計３本のレポートが報告され、情報共有と学習交流の場となりました。

レポート報告＆質疑応答

１　佐世保中央高校夜間からの報告（佐世保中央夜間部　濱本さん）

エンカレッジコースについて

１　在　籍（５月１日現在）

年	コース	学科	始業	在籍	計
1年	夜　間	普通	17:25	24	63
	エンカレッジ	普通	**14:25**	30	
		商業		9	
2年	夜　間	普通	17:25	16	54
	エンカレッジ	普通	**14:25**	26	
		商業		12	
3年	夜　間	普通	17:25	19	25
		商業		6	
4年	夜　間	普通	17:25	1	1
		商業		0	
計				143	

２　時　程

勤務時間	13:15 ～ 21:45
休憩時間	16:15 ～ 17:00

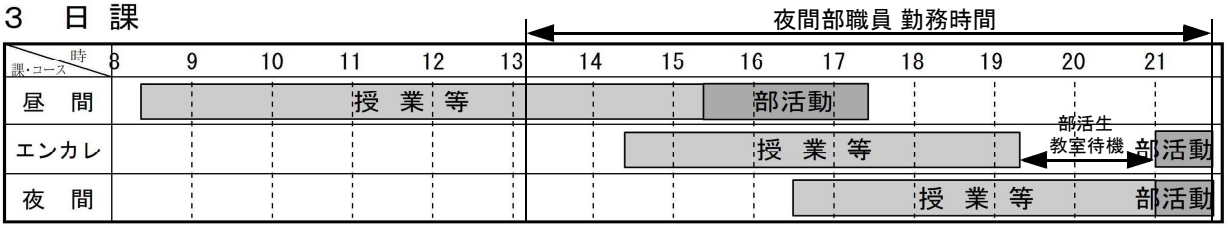
エンカレッジコース	１校時	(45分)	○14:25 ～ ×15:10
	２校時	(45分)	×15:20 ～ ○16:05
	掃　除	(10分)	○16:05 ～ ×16:15
	給　食	(50分)	○16:30 ～ ○17:20
	ＳＨＲ	(10分)	○17:25 ～ ○17:35
	３校時	(45分)	○17:40 ～ ○18:25
	４校時	(45分)	○18:30 ～ ○19:15
	５校時	(45分)	○19:20 ～ ○20:05
	６校時	(45分)	○20:10 ～ ○20:55
	掃除・SHR	(5分)	○20:55 ～ ×21:00
	部活動	(45分)	～ ×21:45

夜間コース

○チャイム有　×チャイム無

夜間とエンカレッジの両コース間で授業相互乗り入れはできない。

３　日　課



佐世保中央高校夜間部では、複雑な教育制度５項目に加え、エンカレッジコース設置により、職場の多忙化が一層進んでいます。新たに発生した多くの問題点が報告されました。内容は、教職員の多忙化や生徒指導の困難化に分類されるもの、エンカレッジコースの生徒が受ける不利益、エンカレッジコース設置によって学級減となった昼間部への大きな副作用等。その多くは、時間と空間の物理的問題によるものです。さらに、教職員多忙化は、夜間部・エンカレッジ両コースの生徒にも結果的に不利益をもたらします。これは、ゆとりのある学校づくりを提唱した定期大会の趣旨にも反します。

多忙化や問題点の感覚的な部分について、今後、職場の意見をさらに集約する形で具体的に数値化・可視化した上で、昼間部・通信制を含めた学校全体の問題として精査する必要性が確認されました。

複雑な教育制度　（①・⑤は、４年間の学習内容を半ば強引に３年間で修了することを目的に設定された制度）

① 定通併修(**22単位**)、② 学び直し、③ 通級授業、④ 特別支援教育研修会、⑤ 通信制授業による単位取得

２　2019年 定通部調査まとめ（本部　今泉さん）

３　文化祭クラスの取り組み ～キャンドル庭園 Patio de Velas～（鳴滝夜間部　烏山）

各分会の状況　マイナンバー他、各分会のとりくみや課題等について意見交流しました。

夕食交流会（5名参加）　長崎港を望みながら交流を深めました。Buono!